

Card Bus TV TUNER & CAPTURE CARD

LVC-TV/CB

LVC-TV/CB

ユーザズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
使用上のご注意	2
ごあいさつ	3
ご注意	3
ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	4
はじめに - 付属品について -	6
第 1 章 製品のご紹介	8
1.1 製品の特徴	8
1.2 使用環境について	9
1.3 各部の名称と機能	10
第 2 章 使うための準備	11
2.1 TV キャプチャカードと AV 機器、TV アンテナの接続	11
2.2 パソコンとの接続とドライバのインストール	12
2.2.1 Windows XP の場合	12
2.2.2 Windows 2000 の場合	15
2.3 WinDVD Recorder のインストール	18
第 3 章 WinDVD Recorder について	22
3.1 WinDVD Recorder の特徴	22
3.2 起動について	24
3.3 操作パネルについて	25
3.4 基本的な使いかた	29
3.4.1 テレビを観る	29
3.4.2 テレビとビデオの映像を切り替える	29
3.4.3 録画をする	30
3.4.4 ファイルを再生する	32
3.4.5 録画予約する	33
3.5 オンラインマニュアルの参照方法	36
第 4 章 トラブルシューティング	37
ハードウェア仕様	40

取扱い上のご注意



注意

この項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

万一、異常が発生したときは。

本製品もしくはパソコン本体から異臭、異音や煙が出たときは、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



濡れた状態で使用しないでください。

本製品に水などの液体が付着した状態で PC カードスロットに装着しないでください。故障、感電、火災の原因となります。



絶対に分解 / 改造しないでください。

感電や火災の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



PC カードスロット以外に装着しないでください。

本製品は PC Card Standard (CardBus) 準拠の PC カードです。これ以外の用途に設計されたカードスロットに装着すると、規格の違いから故障や感電の原因となる場合があります。



その他

この項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が物的損害を負う危険性、もしくは本製品自体を損傷する危険性がある項目です。

静電気が発生しやすい場所で保管 / 使用しないでください。

コネクタ部にはなるべく手を触れないでください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。

温度 / 湿度が急激に変化すると、内部結露が発生して誤動作の原因となります。気温の低い場所から高い場所に移動したときは、しばらく放置して周囲の気温と同程度になってからご使用ください。



使用上のご注意

本製品は地上波アナログチューナーを搭載しており、CS放送、BS放送、地上波デジタル放送のチャンネルは受信できません。

CS/BS放送をビデオ入力端子より入力することで視聴・録画ができますが、著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは、本製品を通して録画を行うことはできません。

CATV番組は、CATV受信サービス(放送)が行われている地域でのみ受信可能です。CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

CATV番組の視聴方法は、各CATV会社によって異なります。視聴に別途ホームターミナル等の装置が必要となる場合もあります。詳しくはCATV会社にお問い合わせください。

パソコンの電源を入れてから、本製品を使用して録画できる状態になるまで時間がかかります。番組開始と同時にパソコンの電源を入れた場合、番組冒頭の録画に間に合わない場合があります。

再生中や録画中にパソコン本体や本製品に衝撃を加えると、映像が途切れたり、停止したりしてしまうことがあります。

TV視聴やタイトル再生を行う際、パソコンの省電力モードを解除してご使用になることをお勧めします。

本製品を利用して映像・音声を視聴される場合、MPEG変換のために実時間より数秒程度再生が遅れます。厳密に実時間で見る必要がある場合は、本製品を使わず直接TVでご視聴ください。

画像や音声の品質はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。

屋内用アンテナを接続した場合、電波の弱い地域では受信状態が悪くなる場合があります。この場合は屋内のアンテナ線(同軸ケーブル)と接続してください。それでも受信状態が悪い場合は、市販のアンテナブースターをご購入ください。

コピーガード信号を含んだ映像の表示・録画はできません。

古いビデオテープなどノイズが多いテープを使用した場合、プロテクト機能が働いて正常に視聴したり録画したりできない場合があります。

iEPG録画予約を行うには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、
項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

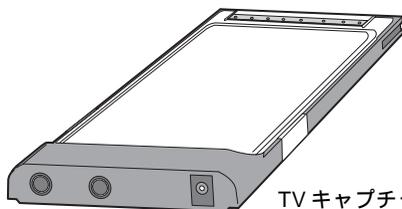
本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Win DVD Recorderはインタービデオジャパン株式会社の登録商標です。DivX[®]は、DivX Networksの登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

はじめに - 付属品について -

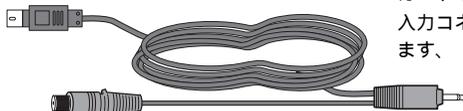
ご使用前に、以下の付属品が同梱されていることをご確認ください。



製品本体です。パソコンのCardBus スロットに接続します。

TV キャプチャカード本体

1 枚



TVアンテナおよび市販のビデオデッキやCS/BS チューナーなどのS-Video 出力端子と、TV キャプチャカード本体のTV アンテナ/S-Video 入力コネクタを接続する際に使用します、

TV アンテナ /S-Video ケーブル

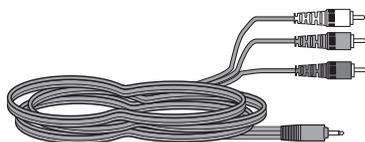
1 本



TVアンテナと、TVキャプチャカード本体のTV アンテナ/S-Video 入力コネクタを接続する際に使用します。

TV アンテナケーブル

1 本



ビデオデッキやCS/BS チューナーなどのオーディオ出力端子・ビデオ出力端子と、TVキャプチャカード本体のAV 入力コネクタを接続する際に使用します。

AV ケーブル

1 本



パソコンのCardBusスロットからの電源供給が十分でなく、本製品が正常に動作しない場合にこのケーブルを使用して、パソコンのUSBポートとTVキャプチャカード本体のDCコネクタを接続してください。USBポートより、TVキャプチャカードへバスパワー電流が供給されます。

USB 補助電源ケーブル 1 本



本製品をパソコンから認識させるためのドライバソフトや、TV視聴・録画ソフトウェア WinDVD Recorder等が収録されています。ソフトウェアのインストール方法については第2章をご参照ください。

ソフトウェア CD-ROM 1 枚

- ・ ユーザーズマニュアル 本書
- ・ 保証書 / ユーザー登録カード 1 枚

第1章 製品のご紹介

1.1 製品の特徴

1

製品の概要：

本製品は、MPEG-1 / MPEG-2 ファイル形式でビデオ映像をパソコンに取り込むことができる CardBus 専用のハードウェア MPEG エンコーダカードです。ノート PC 等でスマートにテレビの観賞・録画を行い、DVD ビデオ用の MPEG-2 ファイルを手軽に作成することができます。ダイレクトレコーディング機能を搭載しているので、書き込み型 DVD ドライブ製品と組み合わせることにより、ダイレクトに録画映像を DVD メディアに記録することができます。

製品の特徴：

- ・ 本製品は CardBus に対応した TV チューナー付 MPEG-2 キャプチャカードです。従来ノートパソコンでテレビ鑑賞・録画を行うには、USB 接続などの外付けテレビチューナーユニットを使用しなければなりませんでした。本製品は CardBus タイプのため、スマートな接続を実現します。
- ・ ダイレクトレコーディング機能を搭載していますので、書き込み型 DVD ドライブ製品と組み合わせることにより、映像をキャプチャして、ダイレクトに DVD メディアに記録することができます。HD ドライブへ一旦データを取り込む必要がありません。
- ・ ハードウェア MPEG エンコーダ搭載により、CPU に負担をかけずコマ落ちのない録画が可能です。
- ・ TV 視聴・録画ソフトにインタービデオ製「WinDVD Recorder」を標準添付しています。テレビ番組の鑑賞/録画だけでなく、DVD ビデオの作成までも簡単な操作で行うことができます。
- ・「Win DVD Recorder」は、Web 上の番組表からワンタッチで簡単に録画予約ができる「iEPG 録画予約に対応」しています。
- ・ AV 入力端子、S ビデオ入力端子を装備しているので、VHS テープやビデオカメラと接続して映像を PC に取り込むこともできます。
- ・ ステレオ/音声多重放送対応超薄型 TV チューナーを搭載しています。

1.2 使用環境について

接続可能なパソコン

本製品は以下のパソコン本体に装着して使用することができます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

動作環境

- ・ PC Card Standard(CardBus)準拠の PC カードスロットを搭載して、サウンド機能を装備している機種に限ります。
- ・ Pentium 500MHz 以上 (リアルタイムキャプチャ時は Pentium 1GHz 以上) の CPU を搭載
- ・ 128MB 以上のメモリを搭載
- ・ 解像度 800 × 600 ドットハイカラー (16bit) 以上に対応しているグラフィック環境



ご注意

- ・ できるだけ高速な CPU 環境での使用を推奨します。ただし、全ての環境での完全な動作を保証するものではありません。
 - ・ 日本国外ではご使用になれません。日本国内でご使用ください。
 - ・ 書き込み型 DVD ドライブと組み合わせてご使用になる場合は、ドライブおよびドライブ添付ソフトウェアの使用環境上の注意事項を合わせてご確認ください。
-

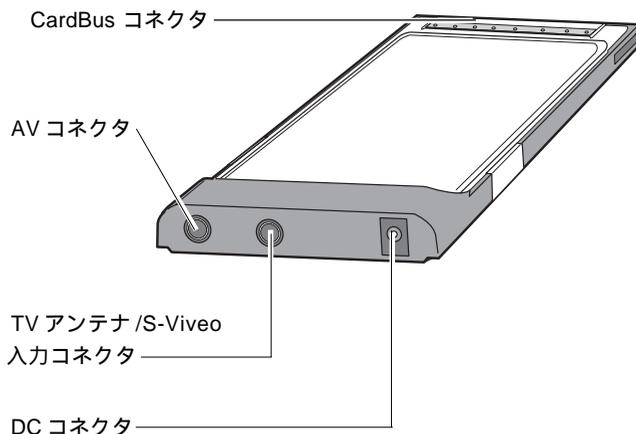
使用可能な OS

本製品は以下の OS で使用することができます。(いずれも日本語バージョンに限ります。また、パソコン本体がサポートしていない OS では使用することができません。)

マイクロソフト株式会社	Windows XP Home Edition/Professional Windows 2000 Professional
-------------	---

1.3 各部の名称と機能

1



CardBus コネクタ

パソコン本体のPCカードスロットに接続する部分です。この部分には、なるべく手を触れないでください。

AV コネクタ

付属のAVケーブルを使用してビデオデッキやCS/BSチューナーなどのオーディオ出力端子・ビデオ出力端子と接続します。

TV アンテナ /S-Video 入力コネクタ

付属のTVアンテナ/S-Videoケーブルを使用してTVアンテナおよびCS/BSチューナーなどのS-Video出力端子と接続します。

TVアンテナからのみ受信したい場合は、付属のTVアンテナケーブルをご使用ください。

DC コネクタ

パソコンのPCカードスロットからの電源供給が十分でなく、本製品が正常に動作しない場合、付属のUSB補助電源ケーブルを使用して、パソコンのUSBポートとこのDCコネクタを接続してください。

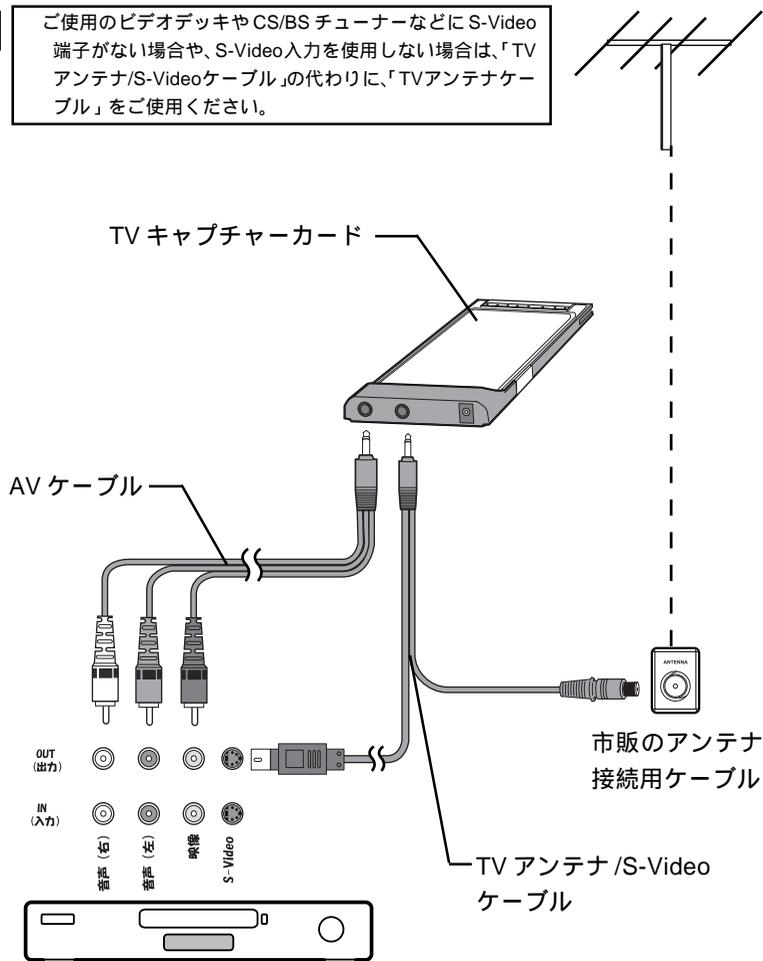
第2章 使うための準備

2.1 TVキャプチャカードとAV機器、TVアンテナの接続

TVキャプチャカードをパソコンに接続する前に、以下を参照してAV機器やTVアンテナと接続してください。

Point

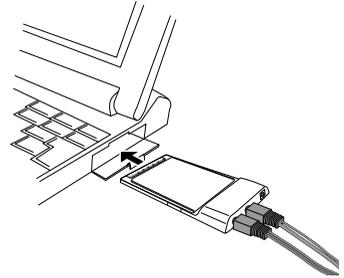
ご使用のビデオデッキやCS/BSチューナーなどにS-Video端子がない場合や、S-Video入力を使用しない場合は、「TVアンテナ/S-Videoケーブル」の代わりに、「TVアンテナケーブル」をご使用ください。



ビデオデッキやCS/BSチューナーなど

2.2 パソコンとの接続とドライバのインストール

TVキャプチャカードとAV機器やTVアンテナを接続したら、次にTVキャプチャカードをパソコンのCardBusスロットにセットしてください。セットする際は、パソコンの電源は必ずOFFにしておいてください。



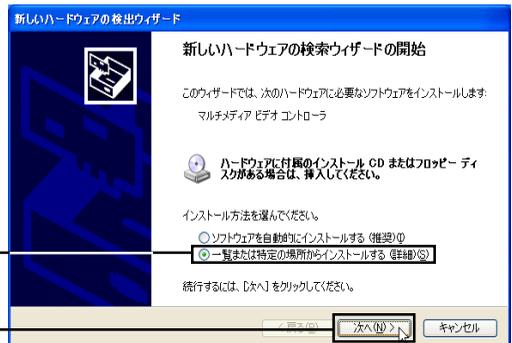
正しくセットしたら、本製品をパソコン側から正常に認識させるためのドライバのインストールを行います。この作業はWindows XPとWindows 2000で異なります。OS別にご説明いたしますので、該当の部分をご参照ください。

2.2.1 Windows XP の場合

コンピュータの電源をONにしてWindows XPを起動し、「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。「一覧または特定の場所からインストールする」をチェック () して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 「一覧または特定の場所から・・・」をチェック () して、



2. 「次へ」をクリック

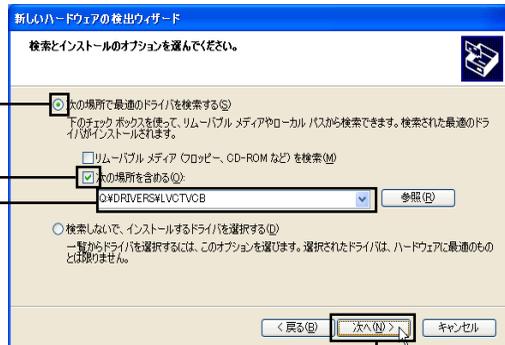
以下の画面が表示されますので、付属の「ソフトウェア CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットし、「次の場所で最適なドライバを選択する」をチェック () し、「次の場所を含める」のチェックボックスにチェック「レ」を入れて以下のように入力してください。

Q:¥DRIVERS¥LVCTVCB

ここで入力する「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を入力してください。

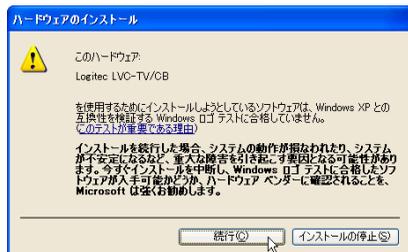
入力後「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 「次の場所で最適な…」
をチェック () して、
2. 「次の場所を含める」を
チェック「レ」して、
3. ここに以下のように入力
Q:¥DRIVERS¥LVCTVCB



4. 「次へ」をクリック

「ハードウェアのインストール」のウィンドウが表示されますので、「続行」ボタンをクリックしてください。(本手順は、表示されない場合もあります。)



参考

- ・ Windows ロゴが取得されていない場合に上記の警告メッセージが表示されますが、ロジテック株式会社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows XP 上で正常に動作することを確認して提供しております。そのままインストールしてご使用ください。
- ・ 「続行」というボタンが表示されず、インストールが途中で終了してしまう場合は、第4章「4.1 トラブルシューティング」をご参照ください。

2.2 パソコンとの接続とドライバのインストール

2.2.1 Windows XP の場合

必要なファイルがコピーされます。コピーが終了すると以下の画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。以上でドライバのインストールは完了です。



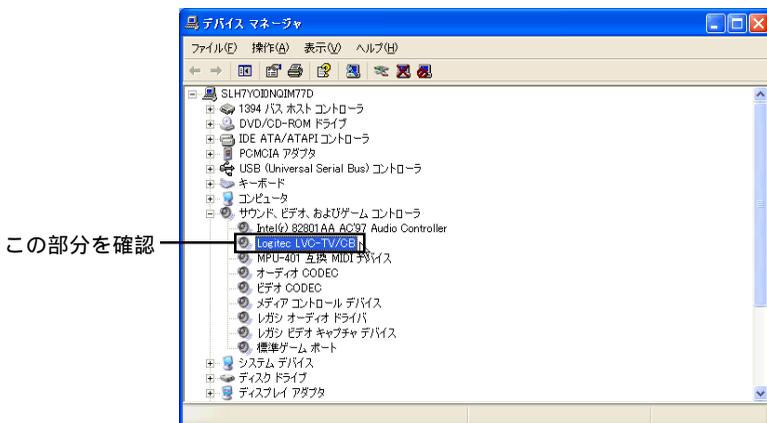
接続 / インストール結果の確認

ドライバのインストールが終わったら、以下の手順で結果を確認してください。

「スタート」 - 「マイコンピュータ」と選択し、「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

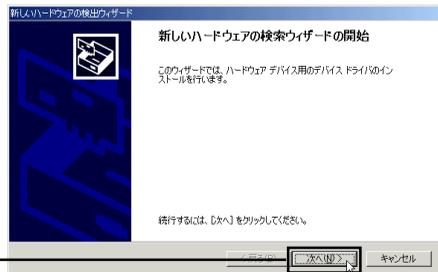
「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されますので、一覧の中から「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」をダブルクリックして、その中に「Logitech LVC-TV/CB」と表示されることを確認してください。



2.2.2 Windows 2000 の場合

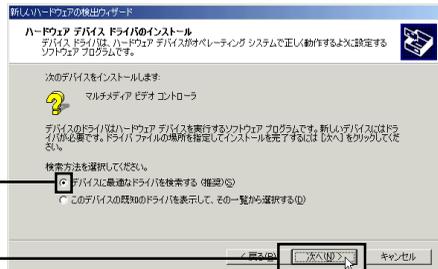
コンピュータの電源をONにしてWindows 2000を起動し、「コンピュータの管理者」など管理者権限のあるアカウントでログオンしてください。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

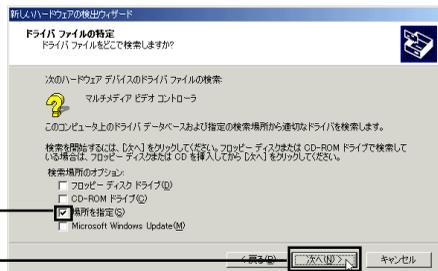
以下の画面が表示されますので、「デバイスに最適なドライバを探索する」をチェック()して、「次へ」ボタンをクリックしてください。



1. 「デバイスに最適...」
をチェック()して、

2. 「次へ」をクリック

以下の画面が表示されますので、「場所を指定」のみチェック「レ」して、「次へ」ボタンをクリックしてください。



1. 「場所を指定」のみ
チェック「レ」

2. 「次へ」をクリック

他の部分にチェックが入っている場合は、チェックを外してください。

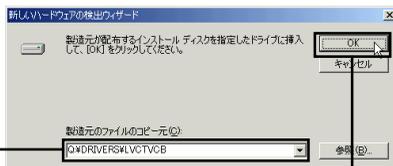
2.2 パソコンとの接続とドライバのインストール

2.2.2 Windows 2000 の場合

以下の画面が表示されますので、付属の「ソフトウェア」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、「製造元のファイルのコピー元」のテキストボックスに、以下のように入力してください。

Q:¥DRIVERS¥LVCTVCB

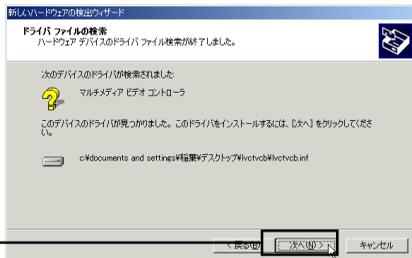
ここで入力する「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を入力してください。
入力後「OK」ボタンをクリックしてください。



1. 入力

2. クリック

以下の画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

以下の画面が表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください(次ページ「参考」をご参照ください)。



「はい」をクリック

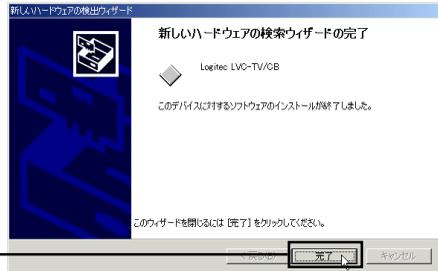
この手順は表示されない場合もあります。表示されない場合は手順へお進みください。



参考

- ・ Microsoft デジタル署名が取得されていない場合に上記の警告メッセージが表示されますが、ロジテック株式会社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000上で正常に動作することを確認して提供しております。そのままインストールしてご使用ください。
- ・ 「はい」というボタンが表示されず、インストールが途中で終了してしまう場合は、「第4章 トラブルシューティング」をご参照ください。

必要なファイルがコピーされ、終了すると以下の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



「完了」をクリック

接続 / インストール結果の確認

ドライバのインストールが終わったら、以下の手順で結果を確認してください。

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されますので、一覧の中から「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」をダブルクリックして、その中に「Logitech LVC-TV/CB」と表示されることを確認してください。



この部分を確認

2.3 WinDVD Recorder のインストール

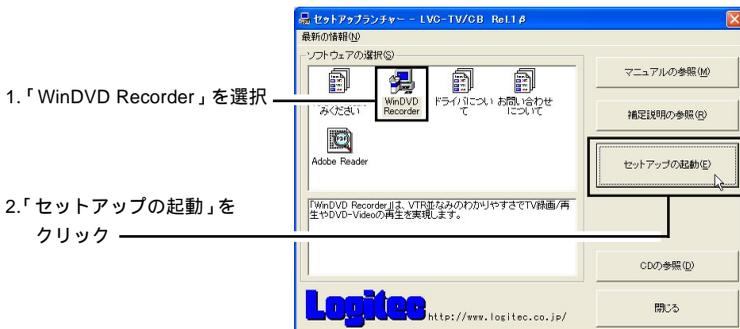
接続とドライバのインストールが終わったら、次に付属のTV視聴・録画ソフトウェア「WinDVD Recorder」をインストールします。

インストール手順

コンピュータの電源をONにして、システムを起動してください。システムにログオンする際は管理者権限のあるユーザー（「コンピュータの管理者」や「Administrator」など）としてログオンしてください。

付属の「ソフトウェア」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

セットアップランチャーが起動し以下の画面が表示されます。「ソフトウェアの選択」から「WinDVD Recorder」を選択（シングルクリック）してください。



Point

ポイント

セットアップランチャーが自動的に起動しない場合は、「ソフトウェア」CD-ROMのアイコン（右のアイコン）をダブルクリックしてください。



このアイコンをダブルクリック

セットアップウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」をクリック



使用権許諾の画面が表示されます。内容をご確認の上、「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」をクリック



ここで「いいえ」をクリックするとインストールが中断されます。

再度、使用権許諾の画面（英語）が表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」をクリック



ここでも「いいえ」をクリックするとインストールが中断されます。

ユーザー情報入力画面が表示されます。必要に応じてお名前、所属、シリアル番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 入力

2. 「次へ」をクリック



シリアル番号は、半角英数字にて入力してください。この番号はCD-ROMケースの表面に記載されています。

右の画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

右の画面が表示されます。そのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」をクリック

インストールが実行されます。この間ユーザは特に操作をする必要はありません。



「キャンセル」ボタンをクリックするとインストールが中断されます。

「ファイルタイプの関連付け」画面が表示されます。必要に応じてチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックしてください。



1. 必要に応じてチェック

2. 「次へ」をクリック

チェックを入れたファイルは、以後、デフォルトで「Win DVD Recorder」から再生されるように設定されます。

全てのセットアップが完了すると、以下の画面が表示されます。「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択し、「完了」ボタンをクリックしてください。

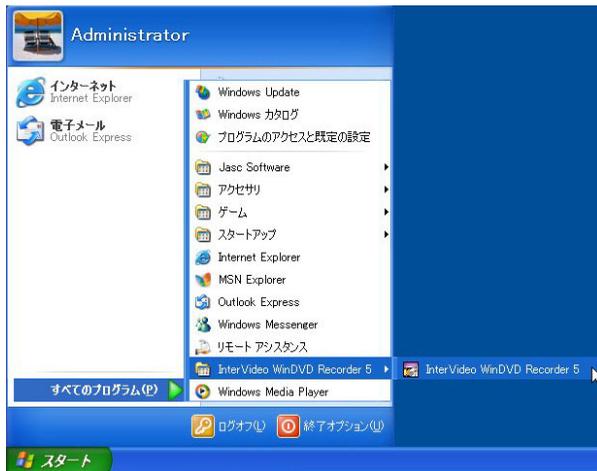
1. 必要に応じてチェック

2. 「次へ」をクリック



以上でインストールは終了です。インストール後「WinDVD Recorder」は以下の場所に登録されます（全てデフォルトのままインストールした場合）。

[スタート] [(すべての) プログラム] [InterVideo WinDVD Recorder 5] [InterVideo WinDVD Recorder 5]



WinDVD Recorder については、第3章をご参照ください。

第3章

WinDVD Recorderについて

3.1 WinDVD Recorder の特徴

家庭用のDVDレコーダーの操作パネルと同感覚のインターフェースを採用した「WinDVD Recorder」は本TVキャプチャカードとの組み合わせにより、TV録画や再生、DVDビデオの再生を行うことができます。録画時には、Web画面上から簡単に予約録画ができる「iEPEG録画予約」に対応しています。

また、書き込み型のDVDドライブとの組み合わせにより、HDドライブにデータを取り込まずに直接DVDメディアへの書き込みを行う「ダイレクトレコーディング」機能を使用することができます。もちろんこの機能を使用して書き込んだDVDメディアをDVDプレーヤーを使用してTV画面上で再生することも可能です。

主な機能

録る

番組録画を行うスケジューラー機能

TV番組の録画を行う際に、録画予定をスケジュール化して、番組開始前に通知する機能があります。スケジュールは、1回だけの予約や、繰り返し同じ時間に録画を行うなどの設定が可能です。

iEPG機能による予約録画

インターネット電子番組ガイドを利用して、独自の番組ガイドを作成したり、録画する番組のスケジュールを組むことができます。

複数のビデオ入力ソースに対応

TVキャプチャボードとの組み合わせで、TVチューナー、S-Video、コンポジットの複数の入力ソースからの録画に対応。入力ソースの選択はワンタッチで行うことができます。

録画コントロール

録画する画面の規格に応じた設定や、記録データのフォーマット形式、保存目的に応じた画質等の詳細な設定を行うことができます。また、プロファイルマネージャのセットアップを使用すると、VCD、SVCD、DVDの録画プロファイルや音質/画質の設定を行うことができます。

観る

DVDプレーヤとして

いつでも自分の時間で視聴できる「タイムストレッチ機能」

タイムストレッチ機能では、オーディオクオリティを保ったまま再生スピードを0.5倍から2倍の間で調整することができます。何時までに終了させるか指定することや、何時間で終了させたいかを指定することもできます。それに応じて、スピードが自動的に変化します。

より自然な画質を実現する「MovieEffector」を搭載

「MovieEffector」とはシャープ(株)が開発したカラーマネジメント処理技術で、DVDビデオなどを再生する際により自然な画質に調整します。色が沈みがちな液晶ディスプレイにおいて効果を発揮し、人物の肌色などを明るく健康的な色合いに調節してくれます。

DVD-Videoの最高音声規格「96KHz/24ビット」をサポート

ハイエンドのオーディオ出力を行うため、96KHz/24ビットのデコードをサポートしています。インストール時に、WinDVD Recorderにより96K/24ビットのデコードがシステムのサウンドカードでサポートされているかどうかをチェックされます。サポートされている場合は、「アドバンスオーディオ設定」で「24bit/96KHzデコードを有効にする」が自動的に選択されます。

最高峰のDivXプレイヤーとしてもご利用いただけます。

人気が高まっているDivXファイル再生をサポートしています。DivXは、MPEG-4ビデオ圧縮を基にしたビデオコーデックで、高画質を維持しながらデジタルビデオを非常に小さなサイズのファイルに圧縮できます。

インターフェースを刷新、邪魔にならない「DockingUI」

操作パネルを「プレーヤパネル」と「サブパネル」に分け、使用するとき以外はサブパネルを隠しておくことができます。

TVとして

オートチャンネルスキャン

この機能を使うと、利用できるTVチャンネルを自動的にスキャンして検出します。また、「チャンネル名前付け」機能を使用すれば、検出されたチャンネルの名前を覚えやすいものに変更することができます。

タイムシフト再生

録画中でも終了まで待つことなく最初から再生することができる「追いかけ再生(タイムシフト)機能」を使用することができます。

その他TVの視聴に必要な一般的な機能を搭載

音声多重や2ヶ国語放送、など、一般のTV視聴に必要な機能を備えています。

残す(別途、記録型DVDドライブが必要になります)

ダイレクトレコーディング機能を搭載

ご使用のDVDドライブが対応しているDVDメディア(DVD-RAM/DVD-RW/DVD+RWメディア等)へ直接書き込みを行うことができます。

家電DVDプレイヤー/レコーダーで再生可能なディスク書き込み

DVD-RW/RAMへはVR(ビデオレコーディングフォーマット)で記録、DVD+RWへはDVD+VRフォーマットで追記を行います。

独自開発技術STD(Straight To Disc)により1クリックでCD-RWへ簡単録画もサポートしています。

3 . 2 起動について

WinDVD Recorder を起動する

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「InterVideo WinDVD Recorder 5」 - 「InterVideo WinDVD Recorder 5」と選択してください。

初回起動時の設定

初めて WinDVD Recorder を起動したときは、以下の手順に従って設定してください。

あなたの国または地域を選択します。“Japan” を選択してください。

ご利用になる地域を選択します。該当する地域がない場合は、近いと思われる地域を選択します。

“アンテナ”か“CATV(ケーブルテレビ)”を選択します。

「オートスキャン(A)」をクリックし、受信可能な全てのチャンネルをオートスキャンします。

3.3 操作パネルについて

「WinDVD Recorder」の操作パネルにはメインコントロールパネルとサブパネルの2種類があります。

メインコントロールパネルには、TV視聴、DVD再生、録画時に使用する基本的な操作ボタンが配置されています。

サブパネルは、TV視聴時にはTVコントロールや録画のサブパネル、DVDビデオ再生時には言語やディスプレイのサブパネルというように、用途と目的に応じて、いくつかのパネルが用意されています。

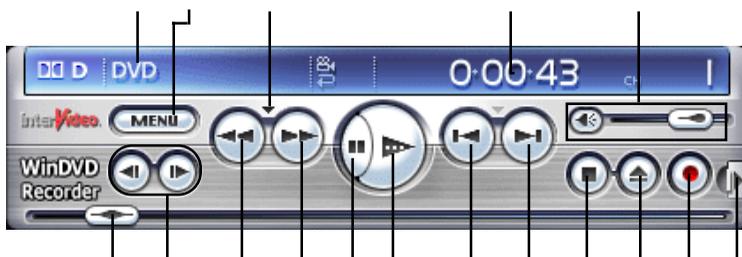
メインコントロールパネル



サブパネル (例)



メインコントロールパネルの機能



3

<p>入力ソース・メディアタイプ</p> 	<p>現在選択されている入力ソースや、再生するメディアのタイプが表示されています。</p>
<p>ディスクメニュー</p> 	<p>タイトルメニューを表示します。再生しているコンテンツがDVDの場合、DVDのメニュー構成に応じたメニューが選択できます。</p>
<p>ドロップダウンボタン </p> 	<p>ドロップダウン ボタン をクリックすると、再生するコンテンツのスピードを選択できます。このボタンをクリックすると、スピードを選択するメニューが表示されます。プラス方向に目盛を移動するスピードがコンテンツをより早く再生します。マイナス方向に目盛を移動すると、スロー モーション モードになります。青いエリアは、0.8 倍、0.4 倍、0.2 倍のスロー モーションです。ボタンをもう一度クリックすると、メニューが閉じられます。</p>
<p>時間カウンタ</p> 	<p>時間カウンタには、ムービーの経過時間または現在の時刻が表示されます。</p>

<p>ボリューム調整</p> 	<p>音量の調整をします。スライダが上がり切ってもボリュームが十分大きくならない場合は、WAV オーディオ出力レベルが最大に調整されているかを再度確認してください。また、騒音のある環境で聴いている場合、「オーディオ」サブパネルの環境設定によって、ダイナミックレンジを狭くして平均音量を上げることができます。</p> <p>ミュートボタン  をクリックすると、音を消すことができます。</p>
<p>スライダ</p> 	<p>ムービーを任意の場所に移動させる場合は、このスライダをドラッグ&ドロップします。 (TV視聴時には、タイムシフト再生時以外は使用しません)</p>
<p>コマ送りボタン</p> 	<p>再生中のムービーをコマ送り/コマ戻しします。</p>
<p>早戻しボタン</p> 	<p>ムービー再生中に早戻しモードでディスクを検索します。クリックする回数により、1/2/8/20/60倍で早戻しを行います。6回クリックすると1倍速に戻ります。</p>
<p>早送りボタン</p> 	<p>ムービー再生中に早送りモードでディスクを検索します。クリックする回数により、1/2/8/20/60倍で早送りをを行います。6回クリックすると1倍速に戻ります。</p>
<p>一時停止ボタン</p> 	<p>再生中のムービーを一時停止します。ムービーまたは音楽の位置は維持されます。再度 [一時停止] ボタンを押すと、再生が再開されます。 TV視聴時にこのボタンを押すと、タイムシフト再生を行うことができます。</p>
<p>再生ボタン</p> 	<p>ディスクまたは現在選択されているファイルの再生をスタートします。</p>

3.3 操作パネルについて

スキップボタン 	前のチャプターの開始点にスキップします。
--	----------------------

スキップボタン 	次のチャプターの開始点にスキップします。
--	----------------------



参考



TV チューナーを使用している場合は、[スキップ] ボタンが無効になり、[チャンネル アップ] と [チャンネル ダウン] ボタンに代わります。



停止ボタン 	再生を停止します。
--	-----------

イジェクトボタン 	接続されているDVD/CDドライブにセットされているメディアをイジェクトします。
---	--

録画ボタン 	選択されている入力ソースの映像を録画します。録画中はボタンの赤いランプが点滅します。停止ボタンをクリックすると録画を終了し、録画ファイルの保存ダイアログボックスが開きます。録画した映像ファイルを保存する場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。
--	--

サブパネル選択 	サブパネルを使用すると、DVD/VCD ナビゲーション、ビデオ、およびオーディオのセカンダリ コントロールへ簡単にアクセスできます。サブパネルを開くには、この矢印をクリックし、表示されるリストから目的に応じたサブパネルを選択してください。
--	---

各サブパネルの機能については、WinDVD Recorderのオンラインヘルプをご参照ください。

3.4 基本的な使い方

ここでは、WinDVD Recorderを使用して、TVの視聴/録画/ファイル再生/予約録画を行う方法についてご説明いたします。

ここでご説明する内容は、基本的な事柄のみとなります。詳細な設定については「WinDVD Recorder」のオンラインヘルプ等をご参照ください。

3.4.1 テレビを観る

「WinDVD Recorder」を起動します。

「入力ソース」ボタンをクリックします。

「LVC-TV/CB Capture TV」を映像ソースに選択します。

チャンネルボタンをクリックして、チャンネルを合わせます。



このボタンでチャンネルを合わせます

3

3.4.2 テレビとビデオの映像を切り替える

テレビの映像だけでなく、ビデオ機器の映像を観ることもできます。以下の手順で入力映像の切り替えができます。

「WinDVD Recorder」を起動します。

「サブパネル選択」ボタンをクリックし「TVコントロール」を選択します。

「入力ソース」ボタンをクリックします。

入力したい映像ソースを選択します。

- ・LVC-TV/CB Capture TV
- ・LVC-TV/CB Capture S-Video
- ・LVC-TV/CB Capture コンポジット



3.4.3 録画をする

録画を行うには「入力ソース」ボタンを押して入力ソースを選択し、ビデオウィンドウで映像を確認の上、コントロールパネルの「録画()」ボタンをクリックしてください。

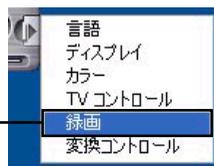
録画データの保存場所やサイズなどの設定はサブパネルの「録画()」で設定することができます。

録画を終了するには「停止()」ボタンをクリックします。ファイル選択ダイアログボックスが開きますので、録画したファイルを保存する場合、「保存」をクリックしてください。この場合、ファイル名、保存先フォルダは自由に設定できます。「キャンセル」をクリックすると録画したファイルは保存されません。ご注意ください。

ハードディスクに録画する

WinDVD Recorder を起動します。

「サブパネル選択  」ボタンをクリックし、
[録画] を選択します。



「プロファイル」より、録画する映像のプロファイルを選択します。

「デバイス」より「ハードディスク」を選択します。

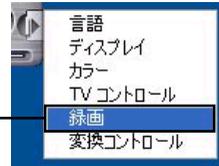


「録画()」ボタンをクリックすると、ハードディスクへの録画が開始されます。

DVD に録画する（ダイレクトレコーディング機能）

WinDVD Recorder を起動します。

「サブパネル選択 」ボタンをクリックし、
[録画] を選択します。



「プロファイル」より、録画する映像のプロファイルを選択します。

「デバイス」より該当する DVD 書き込みドライブを選択します。

「録画()」ボタンをクリックすると、ハードディスクへの録画が開始されます。

録画をはじめる前に、DVD メディアがフォーマットされていることをご確認ください。

3.4.4 ファイルを再生する

WinDVD RecorderはDVD、VCD、およびオーディオCDだけでなくPC上にある様々なメディアファイルも再生することができます。これにより、WinDVD Recorderの機能を活用して個人のオーディオまたはビデオコンテンツを再生することができます。

サポートするファイルの種類

WinDVD Recorderは、一般的なビデオおよびオーディオのファイル形式がサポートされています。

ビデオファイルの種類

ASF、ASX、AVI、MPG、MPEG、M2V、VOB、DAT

オーディオファイルの種類

AC3、DAT、M2A、M2P、MP2、MPG、MPEG、MP3、M3U

再生方法

WinDVD Recorderはコントロールパネルやビデオウィンドウにメディア・ファイルをドラッグ・アンド・ドロップするだけで再生可能です。

WinDVD Recorderサポートしているメディア・ファイルであれば、異なる種類のファイルでも同時にドラッグ・アンド・ドロップして次々に再生することができます。

DivX ファイル再生

WinDVD RecorderはDivXファイルの再生をサポートしています。DivXはMPEG4ビデオ圧縮をベースとしたビデオcodecです。DivXによりデジタルビデオを高い視聴品質を維持しながら非常に小さなサイズに圧縮します。今日、インターネットからダウンロードできる多くのビデオファイルはDivXのcodecで圧縮されています。

3.4.5 録画予約する

予約録画の方法には全ての設定を自分で行う方法と、EPGを利用した方法の2つの方法があります。

スケジューラで録画予約する

WinDVD Recorderを起動します。

サブパネルの「TVコントロール」を開き「スケジューラ」ボタンをクリックします。スケジュールダイアログボックスが開きますので「作成」をクリックします。



タスクダイアログボックスが開きます。「タスク名」、「タスクタイプ」、「ビデオソース」、「TVチャンネル」をそれぞれ入力・選択してください。入力・選択が終わったら「次へ」をクリックします。



録画設定ダイアログボックスが開きます。「録画品質」、「長さ」、「ドライブ」、「録画番組名」をそれぞれ入力・選択してください。入力・選択が終わったら「次へ」をクリックします。



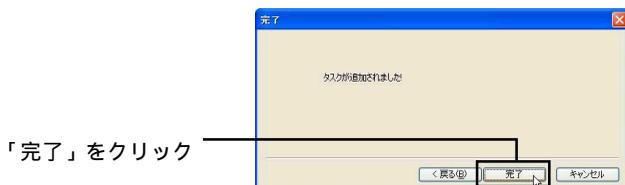
3.4 基本的な使い方

3.4.5 録画予約する

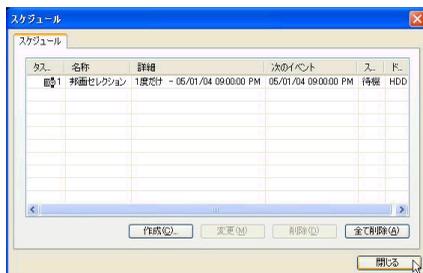
タスク時間ダイアログボックスが開きます。ここで録画日時を設定します。日時指定が終わったら「次へ」をクリックします。



「完了」ダイアログボックスが開きます。



「完了」をクリックするとスケジュールダイアログボックスに戻りますので、設定した内容を確認してください。内容を変更する場合は、該当するスケジュールを選んで「変更」をクリックした後、各項目を変更してください。



ご注意

録画予約の設定は、WinDVD Recorderを終了しても有効です。ただし、パソコンの電源を切ってしまうと予約時間になっても録画されません。

インターネットの番組表 (iEPG) から録画する

EPG を利用した予約録画の方法は以下の通りです。

WinDVD Recorder を起動します。

サブパネルの「TVコントロール」を開き「EPG」ボタンをクリックします。



クリック

ビデオウィンドウがEPGブラウザになり「インターネットTVガイド」を表示します。このページから「iEPG 番組表」をクリックして、iEPG 番組表ページへ移動します。

録画予約したい番組を探し、その番組の「iEPG」マークをクリックします。

WinEPG ダイアログボックスが開きます。各項目を、必要に応じて変更・確認し「スケジュール追加」ボタンをクリックします。

サブパネルの「録画」を開き「スケジュールャー」に登録されたことを確認してください。

以上で録画予約は完了です。

この手順を行うには、パソコンがインターネットに接続できる環境が必要です。

録画予約の設定は、WinDVD Recorderを終了しても有効です。しかし、パソコンの電源を切ってしまうと予約時間になっても録画されません。



ご注意

この手順を行うには、パソコンがインターネットに接続できる環境が必要です。

録画予約の設定は、WinDVD Recorderを終了しても有効です。ただし、パソコンの電源を切ってしまうと予約時間になっても録画されません。

3.5 オンラインマニュアルの参照方法

WinDVD Recorderのオンラインマニュアルは、以下の方法で参照することができます。

WinDVD Recorder 起動時の参照方法

WinDVD Recorderの実行中に、ビデオウィンドウにカーソルを置いて右クリックします。

ポップアップメニューが表示されますので、「ヘルプ」を選択します。

1. ビデオウィンドウで
右クリック

2. ヘルプを選択



製品添付 CD-ROM からの参照方法

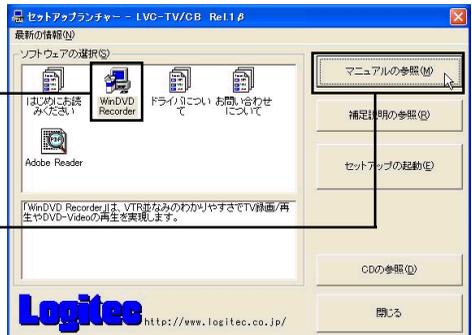
製品添付 CD-ROM からセットアップランチャーを起動します。

「ソフトウェアの選択」から「WinDVD Recorder」を選択（シングルクリック）します。

「マニュアルの参照」ボタンをクリックします。

1. 選択

2. クリック



本製品がPCカードスロットに挿入できない。

挿入方向をもう一度確認してください。本製品が裏返しになっていませんか？

そのPCカードスロットはPC Card Standard (CardBus) に対応していない可能性があります。パソコン本体のマニュアル等でご確認ください。

デバイスマネージャで「Logitech LVC-TV/CB」と表示されない。

一度システムを終了して、再起動してみてください。

本製品が拡張スロットにしっかり挿入されているか確認してください。斜めに浮いていたり、ゴミなどによって接触不良が起きていませんか？ PCカードスロットが複数ある場合、本製品を接続しているスロットを変更してみてください。

動作が不安定になる。

本製品は他のキャプチャボード、キャプチャユニット、ソフトウェアエンコーダと同時に使用できません。

該当するハードウェアが接続されている場合は取り除いてください。

ソフトウェアエンコーダはアンインストールを行ってください。

CardBusスロットからの電源供給量が不足している可能性があります。付属のUSB補助電源ケーブルを接続してください。

1. パソコンのUSBコネクタにUSB補助電源ケーブルを接続してください。
2. USB補助電源ケーブルの反対側のコネクタを本製品のDCコネクタに接続してください。

USB補助電源ケーブルを接続する際は、必ずパソコンのUSBコネクタから先に接続してください。接続する順序を取り違えると、電源供給されなくなりますのでご注意ください。

画面が正常に表示されない。

まず、Windowsのコントロールパネルのシステムのアイコンをクリックし「デバイスマネージャー」のタブで、「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」をクリックして以下のデバイスが正常に組み込まれているか確認して下さい。

Logitech LVC-TV/CB

表示されない場合、または「！」マークや「×」マークが表示されている場合には、ドライバが正常に動作していません。その場合は該当する項目を削除して、再度インストールを行ってください。

デバイスが正常に組み込まれている場合は、グラフィックボードなどの表示が関係していることが考えられます。

- ・ コントロールパネルから、「画面」を開いて「設定」のタブで「画面の領域」と「色」を一段階下げてください。
- ・ グラフィックボードのドライバーを最新版に更新してください。

あるチャンネルだけ正常に表示されない。

この場合基本的に、あるチャンネルだけ表示されない場合は電波状態が良くないことに原因がある場合が多いです。アンテナケーブルや接続部分も確認してみてください。また、地域によって有料チャンネルやケーブルテレビなどでの固有の電波信号（スクランブル）などにより正常に表示できない場合もあります。

可変ビットレート（VBR）のMPEGエンコード設定で録画した映像が荒れる。

可変ビットレート（VBR）は、画像が複雑な時には高ビットレート、逆に簡単な映像では少ないビットレートを与えることで、一定の画質のまま全体のデータ量を抑えることができます。

しかしTV番組など急激に画像が切り替わる場合、「いつ難しい映像になるか」をリアルタイムに予測することはほぼ不可能であり、急激にビットレートを増やさなければならない局面に追従できず、映像が荒れることがあります。

映像の荒れが激しいようでしたら固定ビットレート（CBR）でエンコードを行ってみてください。

省電力モードから復帰できない。

本製品は省電力モードをサポートしていません。省電力機能はOFFにしてご使用ください。

「コントロールパネル」 （「パフォーマンスとメンテナンス」（WindowsXPのみ） 「電源オプション」を起動します。「電源設定」のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」を「なし」にして、「OK」ボタンをクリックしてください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

「WinDVD Recorder」に関する技術的なお問い合わせは、下記の窓口にて受付をしております。

インタービデオジャパン ユーザーサポート

インターネット：<http://www.intervideo.co.jp/>

電子メール：techsupp@intervideo.co.jp

お電話にてお問い合わせの場合は、お手数ですが、インターネットのホームページをご参照いただくか、弊社テクニカルサポートへ、インタービデオジャパンのユーザーサポート連絡先をお問い合わせください。

WinDVD Recorderの無償サポート期間はご購入後1年間となります。

ハードウェア仕様

型番		LVC- TV/ CB	
対応スロット		PC Card Standard (CardBus) TYPE	
対応 TV 信号方式		NTSC	
対応音声		音声多重 / ステレオ	
対応チャンネル		VHF 1 ~ 12 ch UHF 13 ~ 62 ch CATV 13 ~ 63 ch	
入力信号 / コネクタ形状	TVアンテナ	3.5mm径4極ミニジャック (75) (Sビデオ入力と排他使用) (Fコネクタへの変換ケーブル付属)	
	Sビデオ入力	3.5mm径4極ミニジャック (75) (TVアンテナと排他使用) (Sビデオコネクタへの変換ケーブル付属)	
	ビデオ/音声入力	3.5mm径4極ミニジャック (75 /50k) (ピンプラグへの変換ケーブル付属)	
ビデオキャプチャサイズ		720 × 480ドット (MAX)	
フレームレート		29.97fps (MAX)	
環境条件 ^{*1}	動作時		
	保管時	温度	-20 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		DC 3.3 V ± 5 %	
消費電流 (Max)		940 mA (TV 入力時) 560 mA (ビデオ 入力時)	
外形寸法 (縦 × 横 × 厚さ)		115 × 54 × 10 mm ^{*2}	
質量		46g	

*1 ただし結露なきこと。

*2 TV キャプチャカード本体のみ

